

保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - 保証書をご提示いただけない場合。
 - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
 - 譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書		サンワサプライ株式会社	
型番: MM-BTMSP2	シリアルナンバー:		
お客様・お名前・ご住所・TEL			
販売店名・住所・TEL			
担当者名			
保証期間 1年		お買い上げ年月日 年 月 日	

サンワサプライ株式会社 Ver.1.0

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1
TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8
TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0803 札幌市北区北八条西4-1-11 1F ストラビルN8
TEL.011-611-3450 FAX.011-718-8990
仙台営業所 / 〒983-0852 仙台市青葉区権町1-6-37 TM 仙台ビル
TEL.022-257-4838 FAX.022-257-4833
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区権町15-7 カジヤマビル
TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪府淀川区東成4-5-36 ONEST 新大阪スクエア
TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-3-3 博多八百治ビル
TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

CB/AC/HWDaNo



最新の情報はWEBサイトで
<https://www.sanwa.co.jp/>

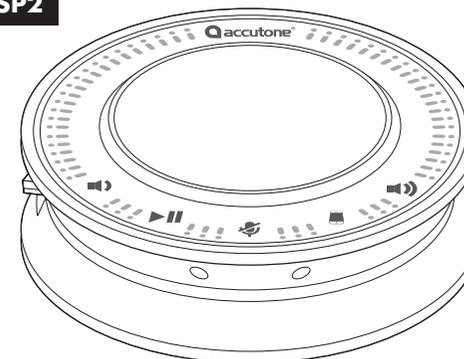
本製品の
最新情報は
コチラ



本取扱説明書の内容、デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

Bluetooth 会議スピーカーフォン (USB接続対応) 取扱説明書

MM-BTMSP2



目次

- | | | | |
|-------------|-------------------------------|-------------|-------------------------|
| p.03 | 1.はじめに | p.15 | ・Windows 7の場合 |
| | 2.セット内容 | p.16 | ・Mac OSの場合 |
| p.04 | 3.安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください) | p.17 | 12.イヤホン・ヘッドホンを使用する場合 |
| p.06 | 4.特長 | p.18 | 13.操作方法 |
| | 5.対応機種 | | ・基本操作 |
| p.07 | 6.仕様 | p.19 | ・通話操作 |
| p.08 | 7.各部の名称とはたらき | p.20 | 14.各種操作方法・LED点灯一覧 |
| p.10 | 8.充電方法 | p.21 | 15.【例】Skypeの設定(Windows) |
| p.11 | 9.電源のON・OFF | p.22 | 16.トラブルシューティング |
| | 10.接続方法 | p.24 | 保証規定 |
| | ・Bluetoothモードで接続をする場合 | | |
| p.13 | ・USBモードで接続をする場合 | | |
| p.14 | 11.パソコンの設定 | | |
| | ・Windows 10・8.1・8の場合 | | |

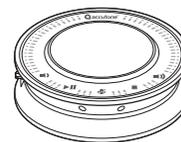
1 はじめに

この度は、Bluetooth会議スピーカーフォン(USB接続対応)「**MM-BTMSP2**」(以下本製品)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書では、本製品の使用方法や安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前によくご覧ください。読み終わったあともこの取扱説明書は大切に保管してください。

2 セット内容

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。



①スピーカーフォン・・・1台



②収納ポーチ・・・1個



③取扱説明書・保証書(本書)・・・1部

※欠品や破損があった場合は、**品番**(MM-BTMSP2)と**上記の番号**(①～③)と**名称**(収納ポーチなど)をお知らせください。

3 安全にお使いいただくためのご注意(必ずお守りください)

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の内容

<内部を開けないでください>

●内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対にしないでください。また、内部を改造した場合の性能の劣化については保証いたしません。

<内部に異物を入れないでください>

●内部に燃えやすいものや、金属片などが入った場合、水などの液体がかかった場合は、接続しているケーブルを抜き、お買い上げいただいた販売店又は弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと火災や故障および感電事故の原因になります。

<接続ケーブルを傷つけないでください>

●ケーブルを傷つけたままご使用になりますと火災・感電の原因となります。

<本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください>

<ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください>

<小さいお子様には使用させないでください>

⚠ 注意 人がけがを負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容

●ケーブルやプラグに無理な力を加えないでください。破損や断線の恐れがあります。

●はじめから音量を上げすぎないでください。最大音量になっていると突然大きな音が出て聴力を損なう恐れがあります。

●ご使用になるときは、音量を大きくしすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間連続して聞く聴力を損なう恐れがあります。

●使用中に本製品を移動させないでください。

●本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

●本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。

●本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合には、弊社は一切の責任を負いません。

●医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。

●飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。

●使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求にตอบสนองするため、常に電力を消費しています。

■ Bluetoothについて

●本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器などのほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

●本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

●万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発信を停止してください。

■ 良好な通信を行うために

●他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートや人間の身体(接触した状態)などを挟むと、雑音が入ったり通信不能になる場合があります。

●Bluetooth対応のヘッドホン・ヘッドセット・スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が出切れることがあります。

●Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生する可能性があります。

●IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害を発生し、通信速度が低下したり接続不能になる場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。

●無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

4 特長

- Bluetooth接続、USB接続の2種類の接続が可能な会議スピーカーフォンです。
- 本体に搭載されているケーブルでUSB接続、充電が可能です。
- ケーブルは本体に巻き付けて収納が可能です。
- 収納ポーチ付きで持ち運びにも便利です。
- SkypeやZOOMなどの音声通話でも使用可能です。

5 対応機種

■ Bluetooth接続時

- Bluetooth対応のスマートフォン・携帯電話・パソコン

※HSP・HFP(ハンズフリー通話機能)に対応していること。 ※音楽再生の場合は、A2DP(音楽再生)に対応していること。
※パソコンがBluetoothに対応していない場合はBluetoothUSBアダプタをお使いください。
※Bluetooth Ver.5.0・4.2・4.1・4.0・3.0・2.1・2.0・1.2対応機器との接続も可能です。 ※Class1の機器との接続も可能です。

■ USB接続時

- 対応機種/Windows搭載(DOS/V)パソコン、Apple Macシリーズ
※標準でUSBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。
- 対応OS/Windows 10・8.1・8・7、macOS 11.0、macOS 10.12~10.15、Mac OS X 10.10~10.11

6 仕様

共通仕様

接続方法	Bluetooth接続、USB接続
インターフェース	USB(USB2.0/1.1両対応)、3.5mmミニジャック
電源	内蔵型リチウムポリマーバッテリー
充電時間	約2時間
連続再生時間	最大約18時間
連続通話時間	最大約21時間
連続待受時間	最大約200時間
サイズ・重量	約W130×D130×H37mm・約280g
ケーブル長	約1.2m
対応OS	Windows 10・8.1・8・7、 macOS 11.0、macOS 10.12~10.15、 Mac OS X10.10~10.11

スピーカー部

実用最大出力	3W
周波数範囲	20~20,000Hz(音楽) 150~8,000kHz(通話)
インピーダンス	4Ω
音圧レベル	75dB(SPL at 0.5m)

Bluetooth仕様

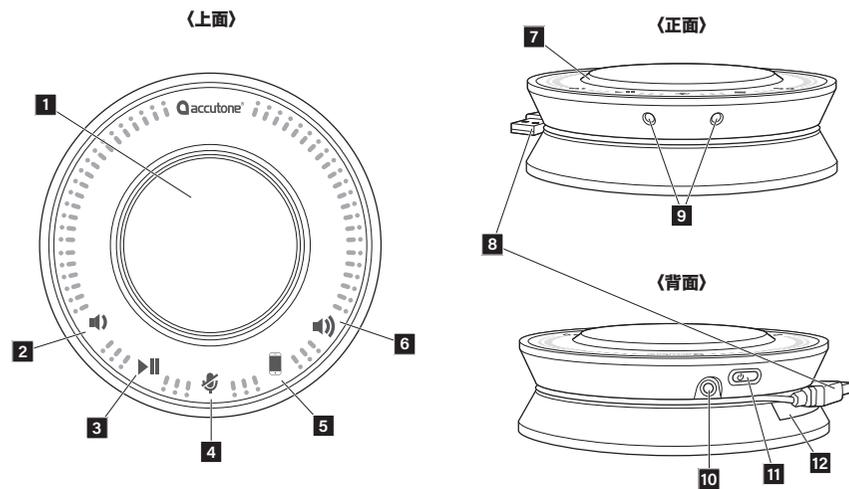
適合規格	Bluetooth5.0(Class2)
周波数範囲	2.402~2.480GHz
通信距離	約10m(理論値)
伝送方式	GFSK
対応コーデック	SBC
対応プロファイル	A2DP・AVRCP・HSP・HFP
マルチポイント	対応
対応機種	Bluetooth 5.0 以下の Bluetoothデバイスに対応 Bluetooth内蔵スマートフォン、 iPad/iPhone、パソコンなど

マイクロホン部

指向性	無(全)指向性
感度	-32dB
周波数範囲	150Hz~8000Hz(音楽) 300Hz~3500Hz(通話)
集音範囲	推奨2m/360°

7 各部の名称とはたらき

①スピーカーフォン



名称	機能
1 スピーカー	音声を出力します。
2 音量ダウンボタン	音量を下げます。
3 再生/停止ボタン	音楽の再生や一時停止ができます。
4 ミュートボタン	マイクやスピーカーの音声をミュートにできます。
5 電話ボタン	着信に出たり、通話を切ったりできます。
6 音量アップボタン	音量を上げます。
7 外周LED	機器の状態に合わせて点灯します。
8 USB Aコネクタ	スピーカーフォンを充電する際やUSBモードで使用する際にパソコンに接続します。
9 マイク	音声を入力します。
10 φ3.5mmミニジャック	イヤホン・ヘッドホンが接続できます。※イヤホン・ヘッドホンの使用はBluetooth接続時のみ有効です。
11 電源ボタン	電源のON・OFFができます。
12 コネクタ収納スロット	コネクタを差し込んで収納できます。

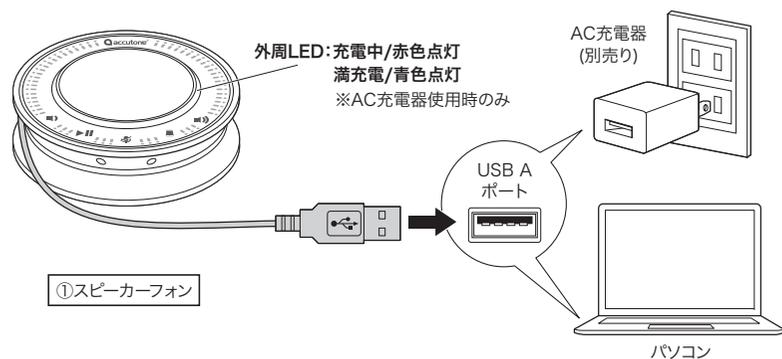
※ボタンはタッチ操作です。(電源ボタンを除く)

8 充電方法

❗ はじめてご使用になるときは、充電してからご使用ください。
※充電時間は約2時間です。

USBケーブルをパソコンやAC充電器(別売り)に接続して充電してください。

※AC充電器を使用して充電した時は、充電中は外周LEDが赤色に点灯し、満充電になると青色点灯に変わります。
※パソコンに接続して充電した時は、外周LEDは点灯しません。



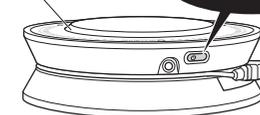
9 電源のON・OFF

■ 電源をONにする

電源がOFFの状態ですべての電源ボタンを約2秒間長押ししてください。
音声アナウンスが鳴り、外周LEDが赤色点灯後、消灯します。

外周LED: 赤色点灯後、消灯

2秒長押し

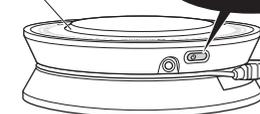


■ 電源をOFFにする

電源がONの状態ですべての電源ボタンを約5秒間長押ししてください。
音声アナウンスが鳴り、外周LEDが赤色点灯後、消灯します。

外周LED: 赤色点灯後、消灯

5秒長押し



10 接続方法

■ Bluetoothモードで接続をする場合

※接続方法により、基本音量が変わる場合があります。

本製品をお手持ちのスマートフォンなどBluetooth機器で使用するためには、お手持ちの機器とペアリングを行う必要があります。

外周LED: 赤青交互点滅

長押し



(例)スマートフォンとの接続方法 ※詳しくは接続機器の説明書をご覧ください。

①本製品の電源がOFFの状態ですべての電源ボタンを電源LEDが赤青交互に点滅するまで長押ししてください。(ペアリングモードになります。)

10 接続方法(続き)

2 スマートフォンのBluetoothを「ON」にしてデバイス名(R1M PROなど)を選択してください。

! ご使用の機器やOSによってデバイス名の表記が変わる場合があります。

iOSの場合

(1)[設定]→[Bluetooth]を選択してください。



(2)「Bluetooth」をONにし、デバイス名を選択してください。



Androidの場合

(1)[設定]→[Bluetooth]を選択してください。



(2)「Bluetooth」をONにし、デバイス名を選択してください。



※パスキーを要求された場合は下記を入力してください。

デバイス名	R1M PRO※1
パスキー	0000(ゼロ4つ)

※1ご使用の機器やOSによってデバイス名の表記が変わる場合があります。

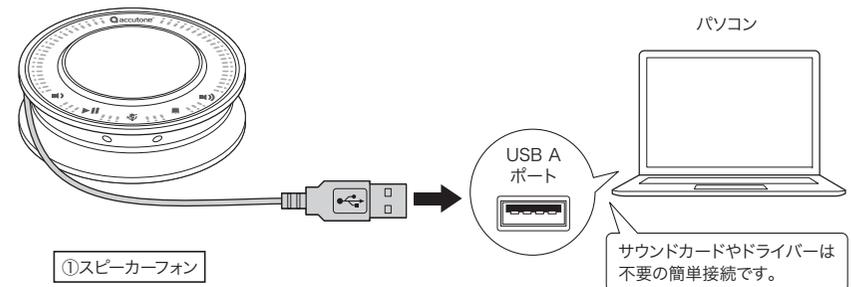
※操作画面は参考です。ご使用のスマートフォンのOS、機種により画面は異なります。

! 何もペアリングされていない状態で電源ボタンを長押しすると、ペアリングモードになります。

外周LEDが赤色に点滅して消灯し、音声アナウンスが流れると、本製品とスマートフォンとの接続が完了します。

■ USBモードで接続する場合 ※接続方法により、基本音量が変わる場合があります。

パソコンの電源を入れ、OSが完全に起動してからUSB Aポートに接続してください。本製品を接続するだけで自動的にドライバーがインストールされ、本製品を使用できます。



! USB接続をした場合は「1.1.パソコンの設定」で設定を行ってください。

11 パソコンの設定

USB接続をした際は下記の通りパソコンの設定を行ってください。

- アプリケーションを起動中にコネクタを差し替えたり、設定を変えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再起動してください。
- 使用するアプリケーションによっては、アプリケーション側で「オーディオデバイスの設定」をする必要があります。

■ Windows 10・8.1・8の場合

※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

- ①カーソルを画面の左下隅に動かして右クリックし、メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ハードウェアとサウンド」をクリックしてください。または、「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windowsシステムツール」を選択し、「コントロールパネル」の中の「ハードウェアとサウンド」をクリックしてください。
- ②「サウンド」をクリックしてください。
- ③[再生]と[録音]タブの中のリストからそれぞれデバイス名(R1M PROなど)を選択し、[既定値に設定(S)]をクリックしてください。

❗ ご使用の機器やOSによって
デバイス名の表記が変わる場合があります。

選択したサウンドデバイスに✔が付きます。
※既に✔がついている場合もあります。
※この時、右下の[プロパティ]をクリックし、それぞれの[レベル]タブを開いて、レベルが0になってないかも確認してください。

- ④「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了してください。



■ Windows 7の場合

※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

- ①[スタート]ボタンから[コントロールパネル]をクリックしてください。
- ②「ハードウェアとサウンド」をクリックし、「サウンド」をクリックしてください。



- ③[再生]と[録音]タブの中のリストからそれぞれデバイス名(R1M PROなど)を選択し、[既定値に設定(S)]をクリックしてください。

❗ ご使用の機器やOSによって
デバイス名の表記が変わる場合があります。

選択したサウンドデバイスに✔が付きます。
※既に✔がついている場合もあります。
※この時、右下の[プロパティ]をクリックし、それぞれの[レベル]タブを開いて、レベルが0になってないかも確認してください。

- ④「OK」をクリックし、コントロールパネルを終了してください。



11 パソコンの設定(続き)

■ Mac OSの場合

※操作画面は参考です。ご使用のバージョンにより画面は異なります。

① アップルメニューから[システム環境設定]をクリックしてください。



② 「サウンド」をクリックしてください。



③ [出力]と[入力]のリストの中から、それぞれデバイス名(RIM PROなど)を選択してください。



❗ ご使用の機器やOSによって
デバイス名の表記が変わる場合があります。

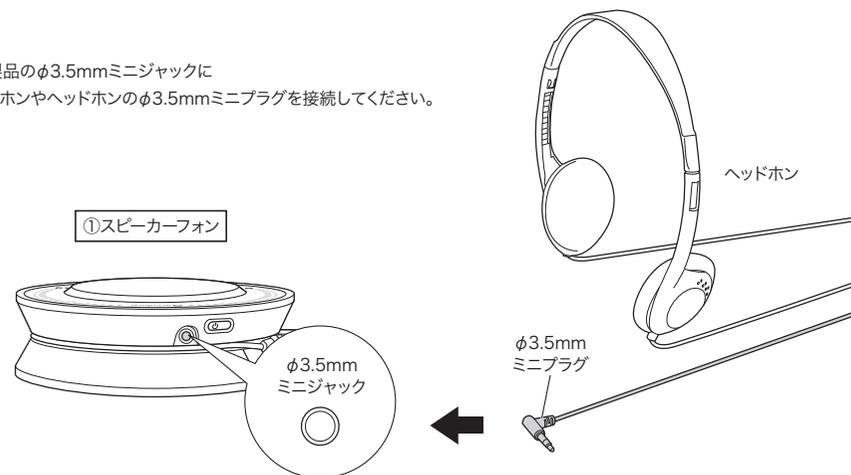
※この時、それぞれの音量調整と「消音」にチェックが入っていないかどうかも確認してください。

④ 左上の  をクリックし、サウンドのプロパティを終了してください。

12 イヤホン・ヘッドホンを使用する場合

スピーカーフォンから出る音を周りの人に聞かれない時に、イヤホンやヘッドホンを接続して使用することもできます。

本製品のφ3.5mmミニジャックに
イヤホンやヘッドホンのφ3.5mmミニプラグを接続してください。

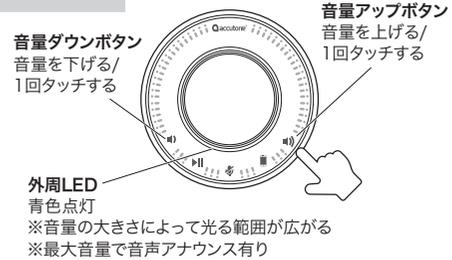


❗ ●イヤホン・ヘッドホンはBluetooth接続時のみ使用できます。
●音声出力のみで、接続した機器(イヤホンやヘッドセットなど)についているマイクはご使用できません。

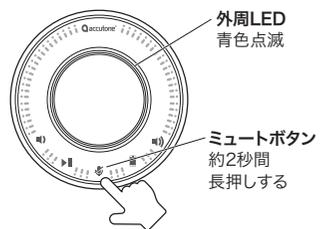
13 操作方法

■ 基本操作

音量調節



スピーカーミュート

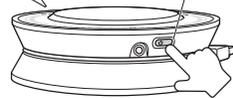


電池残量確認

音声アナウンス

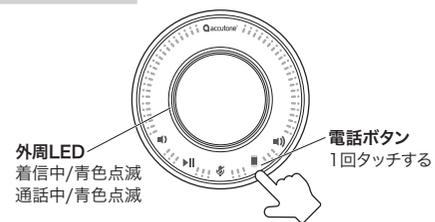
残量 100-80%→「Fully Charged」
残量 79-50%→「Battery High」
残量 49-30%→「Battery Medium」
残量 29-10%→「Battery Low」
残量 9%以下→「Charge Me」
※あくまで目安です。

電源ボタン
1回押す



■ 通話操作

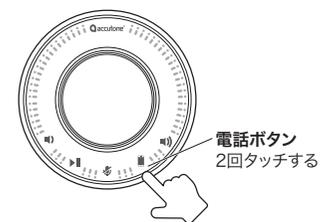
着信に出る/ 通話を切る



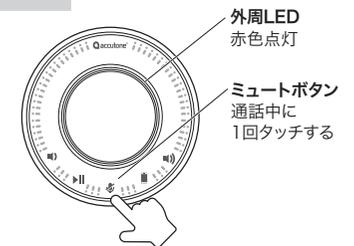
着信拒否



通話切替



マイクミュート



14 各種操作方法・LED点灯一覧

	動作・状態	操作方法	音声アナウンス	外周LED
基本操作	電源ON	電源OFFの状態です電源ボタンを約2秒間長押し	Power on	赤色に1回点灯
	電源OFF	電源ONの状態です電源ボタンを約5秒間長押し	Power off	赤色に1回点灯→消灯
	ペアリングモード	外周LEDが赤色青色交互点滅するまで長押し	Pairing	青色赤色交互点滅
	ペアリング成功	-	Device 1 Connected	赤色点灯
	機器未接続	-	-	赤色点滅
	充電中	-	-	赤色点灯※1
	充電完了	-	Fully charged	青色点灯※1
	電池残量低下	-	Charge Me	-
	電池残量確認	電源ボタンを1回短押し	※2	-
	音量調節	音量アップボタン、音量ダウンボタンで調節	-	青色点灯
	USBモードに切替え	USBケーブルを接続	-	-
	スピーカーミュート	通話中にミュートボタンを約2秒間長押し	Speaker's off	青色点滅
	通話操作	電話に出る	着信中に電話ボタンを1回押す	-
電話を切る		通話中に電話ボタンを1回押す	-	-
着信拒否		着信中に電話ボタンを約2秒間長押し	-	-
通話切替		着信中に電話ボタンを2回押す	-	-
	マイクミュート	通話中にミュートボタンを1回タッチする	Mute on/Mute off	赤色点灯

※着信中は外周LEDが青色に点滅をします。

※1: AC充電器で充電した時のみ点灯します。 ※2: 残量により変化(13.操作方法参照)

15 【例】Skypeの設定(Windows)

- Skypeのメイン画面で **...** (その他)をクリックしてください。
- 「設定」をクリックしてください。
- 「音声/ビデオ」を開いて「マイク」の右のデバイスリスト(プルダウン)からデバイス名(R1M PROなど)を選択し、「マイク設定を自動調整」をONにしてください。

ご使用の機器やOSによってデバイス名の表記が変わる場合があります。

- 「スピーカー」の右のデバイスリスト(プルダウン)からデバイス名(R1M PROなど)を選択してください。

これでSkypeの設定は完了です。

※Skypeのバージョンによっては下記になります。

- Skypeのメイン画面で、[ツール]メニューから[設定]をクリックしてください。
- [オーディオ設定]をクリックしてください。
- Skypeで使用するマイクとスピーカーを本製品にするために、
 - 「マイク」からデバイス名(R1M PROなど)を選択し、「音量設定の自動調整を有効化」にチェックを入れてください。
 - 「スピーカー」からデバイス名(R1M PROなど)を選択してください。
- Skypeの呼び出し音(着信音)を設定してください。
 - 呼び出し音(着信音)を本製品から鳴らす場合
「呼び出し中」からデバイス名(R1M PROなど)を選択してください。
 - 呼び出し音(着信音)をパソコンのスピーカーから鳴らす場合
「呼び出し中」からパソコン本体のスピーカーを選択してください。
- [保存]をクリックしてください。

これでSkypeの設定は完了です。



16 トラブルシューティング

Q) USBハブに接続できますか？

A) 本製品を接続するにはパソコン本体のUSBポートに直接接続するか、ACアダプタ付きのUSBハブ(セルフパワードハブ)に接続してください。キーボードや液晶モニターのUSBポートでは使用できない場合があります。

Q) 本製品を接続しているのに本製品から音が出ずに「パソコン本体のスピーカー」から音が出る。または、音声入力ができない。

A) パソコンの設定で優先されるスピーカーに「パソコン本体のスピーカー」が設定され、マイクについても別のデバイスが設定されています。「11.パソコンの設定」を参考に本製品を優先するよう設定変更してください。

Q) 本製品を接続したままパソコンのスピーカーで音楽を聴こうとすると本製品から音が出る。

A) 「11.パソコンの設定」を参考にパソコンの設定で優先されるスピーカーを「パソコン本体のスピーカー」に設定してください。または、本製品をパソコンから抜いてください。自動的に切替わります。※アプリケーションを作動中にコネクタを差し替えた場合、すぐに認識しないことがあります。一度アプリケーションを終了し再起動してください。

Q) マイクの音量が小さい。

A) パソコンの種類や初期設定によってはマイクの音量が小さい場合があります。その場合は、マイクの音量調整をしてください。

例) Windows 10・8.1・8-7の場合

- ①カーソルを画面の左下隅に動かして右クリックし、メニューから「コントロールパネル」を選択し、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。または「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windowsシステムツール」を選択し、「コントロールパネル」の中の「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
※Windows 7の場合は、「スタート」ボタンから「コントロールパネル」をクリックします。
- ②「サウンド」をクリックします。
- ③「録音」タブをクリックし、該当のマイクをダブルクリックして「マイクのプロパティ」を表示します。
- ④「レベル」タブをクリックします。
- ⑤「マイク」の音量バーをスライドさせて80～90に設定します。
※この時「」ミュート(消音)になっている場合は解除してください。
- ⑥「OK」をクリックして、コントロールパネルを終了します。

Q) 環境ノイズが入る。

A) 相手にこちらの環境ノイズが聞こえる場合は、本製品を雑音源(パソコンやプロジェクターの放熱ファン、クーラーの下)から離して設置してください。

その他ご質問、ご不明な点はWEBサイトへ

弊社サポートページ

- サポート情報
- 各種対応表
- ソフトダウンロード
- Q&A(よくある質問) etc.

